

市民フォーラムアンケート全体集約分

市民フォーラムについて

今後、どのようなテーマのフォーラムを希望しますか。

(希望するテーマ)

1. 医療問題について（老人医療・糖尿病・健康なまちづくり）
2. 災害（地震・水害）について：学校・家庭・自主防災組織の対応について
3. まちづくりについて：施設建設（財政）、活性化、瀬戸内国際芸術祭
4. 福祉（老人介護・独居老人）について
5. 子育て支援について
6. 交通安全（高齢者）について
7. 学校教育について：学力向上・情報教育
8. 地方自治について：地域連携・自治会の役割
9. その他
 - ・消費税、TPP問題について
 - ・弱者救済について
 - ・公共事業（大規模公共事業）について
 - ・環境問題について
 - ・原発の安全性について
 - ・廃棄物問題について
 - ・女性の地域参画について

今日のフォーラムでお気づきになった点、ご意見等がありましたらご記入ください。

1. 一般的・常識的な内容で、私たちの知らない情報や各地域にあった具体的な方策が知りたい
2. 地域の組織作りと具体的な実践に対する取り組みの方法を教えてください
3. 防災に関心のある市民が多くなり、地域住民の自らの取り組みが重要であると再認識した
4. 講演時間（1題30分では短い）や質疑応答の時間が少ない
5. 広い年齢層（若い人や主婦）の参加が必要である
6. パネリストに警察関係者や消防本部を招き、市議もパネリストに入るべき
7. 自主防災の説明は、自治会・地区別に説明を実施してください
8. 自分達の地域でも定期的に防災訓練をする事が、とても大切です
9. その他
 - ・レーザーポインターがまぶしかった
 - ・資料の地図がカラーでないので見にくい
 - ・スライドショーを使った講演は良いと思うが、読み上げるだけでは意味がないと思った
 - ・ため池の下にいるのでとても気になります。
 - ・各自治会に高度な誘導スピーカーは整備されているのでしょうか
 - ・自分たちがだいぶ遅れていると感じた
 - ・住民の役割については、皆が自治会と離れすぎている
 - ・東日本大震災の教訓等が聞けてよかった
 - ・津波について、太平洋と瀬戸内海ではモデルが異なると考えるのか
 - ・津波高さ2.9mとの説明だが、市が考えている高さ0.8mとの違いがあるように思われる
 - ・新小学校は大丈夫なのか
 - ・津波は古文書にも起きた記録はないのでしょうか
 - ・VTRをもっと見たかった
 - ・パネラーの他に体験談（1~2人）も聞かせてほしい
 - ・パネラーが全員男性なのが変です
 - ・各班の任務などの体制作りやもう少し細かな事項の説明がほしい
 - ・市民の意見を前もって聞いておけたらいいと思う
 - ・食料の備蓄、安全確認(安否)、アンテナ無線（防災無線）を整備してほしい
 - ・予定時間オーバーはだめ

防災について

前項で1)の方について。組織の現状はどのようになっていますか。

1) 訓練等を行っている。(年間 回)

訓練内容等

1. 年間1回・・・AEDの使い方、消火訓練、地震への対応、避難訓練、ビデオ
(12件) 消火・救命救急消火器の使用法、災害時の炊き出し、防災知識勉強会
警報訓練(記入なし2件)
2. 年間2回・・・避難、救出、応急手当、消火栓点検、非常食作り、講話
(2件)
3. 年間3回・・・火災の対応(記入なし2件)
(3件)
4. 隔年1回・・・救命、消火
(1件)
5. 最近実施
(1件)
6. その他: 訓練等の活動は、全く行われていない(危機意識がまだまだ低いのでは?)
現在検討中

※記入なし 17件

防災についての問題点、また、今後どのような方面に力を注ぐべきと考えますか。

1. 津波高さなど、統一された数値に対して、避難場所の海拔レベルの表示をしてほしい
2. 市民への防災意識の向上を図り、災害時における協力体制の構築
3. 郡部（田舎地域）の防災用資材の導入助成
4. 各種団体と連携をとり、防災マップ（危険箇所、連絡方法、避難経路を含む）の作成
5. 地域住民の定期的な防災訓練（倒れた家からの脱出、救出方法、炊き出し、飲用水の確保）の実施
6. 要援護者（高齢者や一人で避難が困難な人）の避難方法
7. 災害時の避難場所が現実的でないので、防災計画の見直しを早くして住民への周知の徹底
8. 防災訓練や防災教育（学校との連携）の継続実施
9. 子ども、女性、高齢者、自治体、消防団等が一体となつての防災訓練や教育が必要
10. 学校教育などでも意識を徹すこと
11. 地震による池の決壊による避難対策の検討
12. 住宅の液状化対策や津波避難ビルの指定、護岸・防波堤の耐震化の実施
13. 市民が防災に対する危機意識がなく、誰かがしてくれるだろうという気持ちがある
14. 形式的な自主防災組織のため本気度が低く、訓練もしておらず役割の分担も確認できていない
15. その他
 - ・ 地震災害があつたときのアンケートをとり、どう準備するか具体的な役割を分担すべきである
 - ・ 津波についての対策を考える必要がある地域を知らせ、対処要領を示すべきである
 - ・ 災害発生時は意識が高いが、しばらく経つと、すぐ忘れる。継続の重要性
 - ・ 資金の出处
 - ・ 自主防災組織を設置し、行政と市民全員参加により防災意識を高める
 - ・ ハザードの要注意地区に学校を新設など、行政、市民、議会は不安が無いのですか
 - ・ 地域コミュニティを一層活発にし、具体的な行動計画作成が必要
 - ・ 現状を知らないため、どうしていいかわからない人が多いので自助意識の高揚指導が必要
 - ・ 安否確認や非常袋の点検、避難所の分散化、発電機・蓄電池の確保
 - ・ ホットメールの加入増と充実

今後、ご自身が防災について何を取り組めますか。

1. 身近でできること（避難グッズの準備・家庭中の点検・家具などの倒壊防止・自宅の耐震化
2. 隣近所の助け合い等を常日頃から大切に、自治会別の個人情報をとりまとめる
3. 避難訓練（高齢者の避難指導）を定期的に行う
4. 自主防災組織を結成し、参加して自分の身は自分で守り、家族も守る訓練を行う
5. まず家庭や家族で防災意識を持ち、次は、職場や地域での防災の役割を意識していきたい
6. 家族間で話し合い、連絡方法や避難経路をあらかじめ決めておく
7. 公助と共助の連携の強化を図り、自助のための身の周りの整理整頓
8. 情報を正確にタイムリーに収集するために、情報の伝達方法を確認しておく
9. その他
 - ・リーダーとして住民の安全確保。意識改革、訓練等。
 - ・知識を広める
 - ・土砂災害について